



地方創生の実現に向けて

～ 理化学研究所との連携による福岡県のバイオ産業の発展 ～

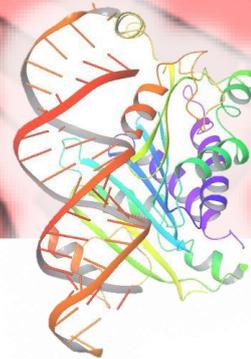
シンポジウム
in FUKUOKA

革新的医薬・核酸医薬の開発

日時 平成30年 1月10日(水) 14:00～18:20 (受付開始 13:30～)

会場 九州大学 医学部百年講堂 中ホール3

参加 申込制・無料 (申込アドレス:fbv@krcp.ktarn.or.jp)



プログラム

14:00～ オープニング 主催者挨拶

14:10～ 基調講演

◆「分子イメージングの活用による精密な創薬・医療・健康科学」

理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター センター長 渡辺 恭良氏

15:10～ 第Ⅰ部セッション ～ベンチャー企業がけん引する核酸医薬開発～

◆「最新の核酸医薬開発動向」

核酸医薬ニュース発行人 野澤 厳氏

◆「高機能核酸「Xenoligo™」による革新的医薬品開発」

タグシクス・バイオ株式会社 代表取締役社長 古関 千寿子氏

◆「国産ゲノム・RNA編集技術の医療での展開」

エディットフォース株式会社 代表取締役社長 中村 崇裕氏

◆「ボナック核酸の核酸創薬・創剤への応用」

株式会社ボナック 取締役 豊福 秀一氏

16:40～ 第Ⅱ部セッション ～核酸医薬の基礎から臨床応用を目指した研究～

◆「核酸医薬:基礎から臨床応用」

九州大学大学院薬学研究院 生物有機合成化学分野 主幹教授 佐々木 茂貴氏

◆「核酸等の中分子のPET化学」

理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター チームリーダー 土居 久志氏

◆「アンメットニーズ克服を目指した眼内増殖性疾患に対するペリオスチン標的一本鎖核酸医薬の創製」

九州大学大学院医学研究院 眼科学分野 准教授 吉田 茂生氏

17:40～ 特別講演

◆「脊髄性筋萎縮症(SMA)に対するアンチセンス核酸Nusinersen(スピブラザ®)の作用機序と臨床効果」

バイオジェン・ジャパン株式会社 代表取締役社長 鳥居 慎一氏

18:15～ クロージング 閉会挨拶

【主催】福岡県バイオ産業拠点推進会議、福岡県、久留米市

【共催】国立大学法人九州大学、学校法人久留米大学

【後援】国立研究開発法人理化学研究所、日本核酸医薬学会、九州大学病院ARO次世代医療センター、九州大学先端融合医療創成センター

【お問合せ】株式会社久留米リサーチ・パーク バイオ事業部 地方創生事務局 〒839-0864 福岡県久留米市百年公園1-1 TEL:0942-37-6124